

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和5年度第1回愛川町生涯学習推進プラン推進委員会		
事務局 (担当課)		教育委員会生涯学習課 内線3642		
開催日時		令和5年11月1日(木) 午前10時～午前11時10分		
開催場所		文化会館3階特別会議室		
出席者	委員	9人(別紙のとおり)		
	その他	2人(オブザーバー(ジャパンインターナショナル総合研究所))		
	事務局	5人(教育長、教育次長、生涯学習課長、副主幹2人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開・一部公開の場合は、その理由		/		
会議次第		1 開会 2 委員委嘱 3 教育長あいさつ 4 第3次愛川町生涯学習推進プラン(案)の諮問について 5 議題 (1) 第3次愛川町生涯学習推進プラン(案)について (2) その他 6 閉会		

# 審 議 経 過

( 1 / 3 )

※審議の要旨は次のとおり (○は委員の発言、●は事務局の発言)	
1	開会
2	委員委嘱
3	教育長あいさつ
	● 教育長あいさつ
4	第3次愛川町生涯学習推進プラン(案)の諮問について
	● 教育長より委員長へ諮問書の交付
	● 委員長あいさつ
5	議題
	(1) 第3次愛川町生涯学習推進プラン(案)について
	● 説明
	○ (委員A) 昔、福祉の世界で「ゆりかごから墓場まで」という言葉があったが、この計画は子どもから高齢者まで多くの階層の年齢、生活の場に合わせた内容となっていると思う。計画全体としては素晴らしいものだと思うが、今後、実際に進めていく段階で必要ではないかと思った点がある。
	計画(案)の13ページ、アンケート調査結果について「生涯学習を行う上での支障」では、「具体的なきっかけがない」、「自由時間がない」が上位となっている。自由時間がないという人は、現在お勤めをされていて時間がないということかもしれない。「必要な情報が入手しにくい」という回答もある。
	また、17ページの「ボランティア活動、NPO活動、地域活動等、社会的な活動につ

# 審 議 経 過

( 2 / 3 )

いて」では、「参加している」が17.0%、「参加していないが、今後機会があれば参加したい」が31.7%であり、合わせると48.7%となっている。概ね半数の方が現在参加中か、誰かがそういう気を起こさせてくれば参加する可能性がある方という回答になっている。

社会的な活動については、町の様々な課が広報やチラシなどで紹介をしているが、行政が案内する以外に、現在活動している方や団体が、個人的に知り合いを引っ張り込むことが大事だと思う。そうしないと、地域社会を支える活動が増えていかないと思う。従来の情報提供に加え、各課が担当している団体に個別の募集、声かけなどの支援をしていただくと、やる気はあるけれども参加するきっかけがない、どんな活動をしているのかを知る手段がないという方たちに浸透するのではないかと思う。町民みんなで元気に楽しく暮らすために、根本的な部分のPRや支援を強化したほうがよいと思う。

- 仕事が忙しく自由時間がないという状況については、忙しい中でも生涯学習につなげられるような手法、例えば、ICT機器を使ってリモートで勉強していただくなど、今の時代に合った新たな学習方法を探ることも1つと考えている。

コロナ禍を経て生涯学習の意欲が落ち込んでいる現状もあるため、再び生涯学習に参加していただくには、周知が大事と考えている。人のつながりを通じて口コミでどんどん広げていただくというのは、本当に大切なことだと考えているので、町からの情報発信も含め、各団体の横のつながりで協力いただきながら、各課が展開している様々な事業の参加者が増えるよう、生涯学習課で音頭をとって進めていきたい。

(2) その他

# 審 議 経 過

( 3 / 3 )

○（委員B）学校の教育の現状を知りたい。今の日本の語学教育、ICT教育は諸外国に比べて非常に遅れていると聞く。現状とこれからの方向性を参考までにお伺いしたい。

○（委員C）先ほどのICTの説明の中で、包括的な教育、神奈川工科大学との連携の話があった。あの取組みは本当にありがたく思っている。愛川町、愛川町教育委員会の強力なバックアップもあり、神奈川工科大学の教授がご自分の研究室の学生を連れてきて、長年にわたりICT教育、具体的にはプログラミングを子どもたちに指導していただいている。今後、学校を地域にどんどん解放していくので、ぜひお時間をつくって学校に足を運んでいただき、子どもたちの普段の様子をご覧いただきたい。

語学の部分については、私たちが子どもの頃は英語も日本人が教えていたが、今は、生活で実際に英語を使われているネイティブの方が一緒に授業に入って、子どもたちが英語に親しむ機会をたくさん与えている。また、町の広報にあったように、今、様々な国の子どもたちが学校に来ている。学校の状況に応じて、様々な国の言葉を学ぶ機会などもつくっていると思うので、今後さらに期待していただければと思う。

○（委員B）私はYouTubeをよく見るのだが、海外から来た方は、ほとんど英語で受け答えをされている。今、英語が国際の共通語という現状にある。学校教育で普通の会話ができる程度のレベルまで持っていくのは非常に難しいと思うが、できれば小学校、中学校辺りで一般の会話ができるくらいの能力が身に付けられるといいと思っている。今後の学校教育に期待する。

## 6 閉会

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

会長(委員長)  
署名欄

萩原庸元

## 愛川町生涯学習推進プラン推進委員会委員名簿

選出区分	団体名等	氏名	出欠
公募による町民等	公募委員	うただ はるみ 歌田 晴美	出席
学識経験を有する者	県央教育事務所指導課課長	いづみ ひでと 伊積 秀人	出席
町立公民館利用団体の代表者	公民館利用団体代表	わだ つやこ 和田 艶子	出席
町社会教育委員	町社会教育委員議長	はぎわら のぶもと 萩原 庸元	出席
区長会の代表者	町区長会副会長	こなかはらもりひこ 小中原守彦	出席
町社会福祉協議会の代表者	町社会福祉協議会会長	いしい やすひろ 石井 康弘	出席
教育関係者	町小学校長会	いのうえ まさあき 井上 真彰	出席
関係団体等の代表者	町文化協会副会長	いまい え 今井ふく江	出席
	町スポーツ協会理事長	よしおか なるとみ 吉岡 去私	出席

(任期 令和4年4月1日から令和6年3月31日まで)